

研究課題：肝癌合併糖尿病患者における糖尿病治療と予後との関連

1. 研究の対象

2010年1月以降、大阪大学医学部附属病院内分泌・代謝内科に糖尿病で通院加療されている肝癌併発2型糖尿病患者で、当院で肝癌の初回治療を行った者。

2. 研究目的・方法

肝癌を有する糖尿病患者において、後ろ向きの観察研究を行い、肝癌の再発や生命予後、ひいては患者QOLに関連する因子を明らかにすることを目的とする。研究期間：2018年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常の医療において、取得された・あるいは取得される予定の下記の診療情報を利用する。

肝癌に関する項目

- ・ 肝炎ウイルス（HBs 抗原、HCV 抗体）
- ・ 肝癌初回治療時の最大腫瘍径、腫瘍数、脈管侵襲の有無、遠隔転移の有無
- ・ 肝癌初回治療の方法（ope or RFA or PEIT or TACE）
- ・ 肝癌初回治療時の腫瘍マーカー（AFP、PIVKA-II）、Child-Pughスコア、血小板数
- ・ 観察期間中の死亡の有無および死亡までの観察期間と死因、Child-Pughスコア等の推移
- ・ 観察期間中の肝癌再発の有無、および初回再発までの期間

糖尿病に関する項目

- ・ 肝癌初回入院治療後、退院時の糖尿病治療法の内容
- ・ 肝癌初回入院治療後観察期間中の糖尿病治療法の内容
- ・ 肝癌初回入院治療後、退院時の血糖値およびHbA1c
- ・ 肝癌初回入院治療後観察期間中の血糖値およびHbA1cの推移、血小板数の推移
- ・ 肝癌初回入院治療後、退院時の代謝関連臨床検査値およびBMI
- ・ 肝癌初回入院治療後観察期間中の代謝関連臨床検査値およびBMIの推移

カルテ番号、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 電話：06-6879-3732 FAX：06-6879-3739

大阪大学大学院医学系研究科

内分泌・代謝内科学/糖尿病病態医療学寄附講座

研究責任者 岩橋博見